

ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室（ひよこ組） 令和7年6月号 No.3

6月の集団活動は『感触あそび』をしました。10家族が参加し、こども同士、保護者さん同士が関わり合いながら楽しい時間を過ごしました。集団活動の始まりはいつも、お返事や手遊び歌を歌っています。今回は梅雨時期ということで、絵本『ぴよーん』も取り入れ、体を動かして楽しみました。



ページをめくるたびにカエルやウサギ、かたつむり…？など、いろいろな生き物が「ぴよーん」とはねる楽しい絵本です。思わず体を動かしたくなり、乳児さんから楽しめる一冊です。保護者さんは腕が疲れていましたが、こどもたちは段々高くジャンプさせてもらうことに大喜び！人気の絵本です。他にも親子で楽しめる絵本を保護者さん同士で是非共有してみてください。



感触あそびでは、もののイメージを促し、発想力に繋がったり、言葉に興味をもつきっかけとして、多くのオノマトペをきいたりしながら、様々な素材に触れました。「水や風船ベッド」「寒天ゼリー」「緩衝材や新聞紙」などのコーナー遊びを設定し、感触の心地よさや素材が変化する面白さを感じながら、それぞれが好きな感触を見つけて楽しみました。



保護者学習会

幼稚部の朝の会の様子を参観した後、幼稚部の教育内容について主任からの話を聞いていただきました。



1日の流れや行事の様子、絵日記や写真日記、しおりやおたより帳を活用した自分の言葉（音声・身振り・指文字・手話など）で伝える取り組みなど、幼稚部で大切にしていることについて、イメージを掴んでいただけたかと思います。

視覚支援（幼児手話、身振り、絵カードなど）

聴覚に障害があるこどもにとって、視覚から情報を得ることはとても大切です。身振りやイラストの意味がまだ分からない乳幼児期のこどもでも、自分に向けて伝えられているということが分かるだけで、こどもは安心して遊ぶことができ、少しずつ意味がわかり表出に繋がってきます。今年度もPTA手話教室が開催され、ひよこ組の保護者さんも手話を覚えたい、通じ合いたいとの思いでたくさん参加してくれています。様々な方法を用いながら、こどもとのコミュニケーションを楽しんで欲しいと思います。下記は集団活動で使っている手話の一例です。



これから暑くなると水遊びが始まり、人工内耳や補聴器等の補聴機器を外して遊ぶ場合があります。音がきこえない、きこえにくい環境の中でも、絵カードや身振り、手話を使って情報保障をしながら活動をしていきます。こどもが安心して楽しく遊べるように今後も工夫していきたいです。



ママたちが
お勉強中
僕たちは
いっぱい
遊んだよ♪

